地上・BS・110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ
PRODIA

セットアップガイド

型番 PRD-LH132B / PRD-LH132BA

205000147-0

本書はテレビを受信できるまでの手順を説明しています。本機の詳しい使い方は取扱説明書を参照してください。
また、本書と取扱説明書は大切に保管しておいてください。

1 内容品を確認する

本書に記載している「(取扱説明書)マーク」は取扱説明書の参照ページを示しています。
取扱説明書も合わせて確認してください。

本製品に付属する内容品を確かめてください。
そろっていないときは、お買い上げ日から2週間以内に弊社ユーザーサポートセンターまたは販売店にお問い合わせください。

- □ 本体
- □ 電源ケーブル
- □ スタンド
- □ スタンド金具
- □ ハードディスク
- □ ハードディスク用USBケーブル
- □ リモコン
- □ 3D メガネ

ビニール袋にまとまって入っています

- □ B-CAS カード（使用許諾契約書 添付）
- □ 製品保証書
- □ 転倒防止バンド（ネジA×1）（ネジB×1）
- □ 単4形乾電池（×2）
- □ 本体固定ネジ（×4）
- □ スタンド金具取付けネジ（×4）
- □ 取扱説明書
- □ 録画・再生かんたんガイド
- □ セットアップガイド（本書）

✕ 本製品にアンテナ線は付属しておりません。

お使いのアンテナは、デジタル放送に対応していますか？

地上デジタル、BS/CS放送を受信するには、対応のアンテナが必要です。お住まいや受信する環境によって確認方法が異なるため、以下を参考にしてください。

地上デジタル放送を受信するには

- 一戸建てなど独立アンテナの場合、UHFアンテナが必要です。

UHF アンテナ

※古いアンテナを使用している場合や、アンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない場合は受信できないことがあります。

- マンションなどの集合住宅にお住まいの場合や、共同受信施設のときは、管理者または管理会社にお問い合わせください。
- ケーブルテレビで受信する場合、地上デジタル放送に対応していればアンテナの設置は不要です。放送方式がパススルー方式であるかを確認してください。

BS/CS デジタル放送を受信するには

- BS/CS デジタル対応のパラボラアンテナの設置が必要です。

BS/CS デジタル用パラボラアンテナ

※マンションなどの集合住宅の場合は、管理者または管理会社にお問い合わせください。

- 有料チャンネルを視聴するには放送局との契約が必要です。各放送局にお問い合わせください。

1506-0GTH000

2 スタンドを取り付ける

本体にスタンドを取り付けます。
液晶画面に傷が付かないように、本体の移動には十分注意してください。

必要なもの

- 本体
- スタンド
- スタンド金具
- 本体固定ネジ（×4）
- スタンド金具取付ネジ（×4）

別途用意してください。

- プラスドライバー
- やわらかい布（本製品の梱包材でも代用できます）

1. スタンド金具をスタンドに取り付けます

銀色で長いスタンド金具取り付けネジを使います。

向きに注意

2. 本体の画面を下向きにして静かに置きます

※本体を動かすときは、2人以上で行うことを推奨します。

安定した水平な場所に、やわらかい布などを敷きます。

3. スタンドを本体に固定します

黒色で短い本体固定ネジを使います。

3 付属品の準備

1. リモコンに電池を入れます

電池の向きに注意

※付属の電池は動作確認用のため、通常より早く消耗する場合があります。
※交換する場合は、単4形（1.5V）の電池を使用してください。

2. B-CAS カードを挿入口にさし込みます

はずす

使用許諾契約書をよくお読みください。

ここまでさし込む

B-CAS カードはデジタル放送を受信するために必要です。

※向きに注意してください。
※B-CASカードを抜きさしするときは、電源ケーブルをコンセントからはずしてから行ってください。

4 本体を設置する

1. 本体を設置します

画面の視野角は上下左右178°です。
視野角を超えると視聴しづらくなるため、テレビの正面からまっすぐ視聴できる位置に設置してください。

2. ハードディスクを本機につなぎます

ハードディスクは録画したデータを保存するために必要です。
録画するときはかならず接続しておいてください。

ハードディスクは録画したデータを保存するために必要です。録画するときは、かならず接続しておいてください。
ハードディスクは水平な場所に寝かせて置いてください。また、ビデオデッキなど、他の機器の上には置かないでください。動作に影響を与える場合があります。

5 アンテナ線をつなぐ

1. 本機の背面にアンテナ線をつなぎます

※本製品にアンテナ線は含まれておりません。F型コネクタのついたアンテナ線を別途用意してください。

今まで使っていたテレビと交換する場合、接続していたアンテナ線が「F型コネクタ」のときはそのまま付け換えることができます。

F 型コネクタ

2. 壁面アンテナ端子にアンテナ線をつなぎます

地上デジタル･アナログ･BS･CSを利用するのに、壁面のアンテナ端子が一つしかない場合

地上デジタル・アナログ BS・CS

分波器を使用して地上デジタル/アナログと、BS/CSにケーブルを分ける必要があります。分波器の種類や接続方法については、お近くの電器店などにお問い合わせください。

地上デジタル･アナログが別のアンテナ端子に分かれている場合

地上デジタル　アナログ

混合器を使用して地上デジタルとアナログを同じケーブルにまとめる必要があります。混合器の種類や接続方法については、お近くの電器店などにお問い合わせください。

6 電源を入れる

1. 電源ケーブルをつなぎます

2. リモコンの 電源 を押します

電源が入ると「はじめて設定」画面が表示されます。

以上で接続は完了です。

受光範囲内で操作してください。

リモコンの機能やくわしい操作方法は、裏面を参照してください。

外部機器を接続する

外部機器との接続は(取扱説明書) P.54～P.55 を参照してください。

ケーブルをまとめる

背面の結束用バンドを使うと配線をきれいにまとめられます。
アンテナ線などが抜けないように注意してください。

（テレビの背面）結束用バンド

転倒防止のため本機を固定する

地震などで本機が転倒しないように、設置面に固定してください。設置面への固定の方法には転倒防止バンドを使う方法と、ネジで直接固定する方法があります。

転倒防止バンドを使う

1. 本機と転倒防止バンドをネジAで固定します。
2. 転倒防止バンドをネジBで固定します。

付属の転倒防止バンドとネジを使って取り付けます。プラスドライバーを用意してください。

（テレビの背面）
ネジA 黒色でネジ先端が平たい
転倒防止バンド
（設置する台）
ネジB 銀色でネジ先が尖っている
奥のネジ穴を使用してください

ネジで直接固定する

本機と設置面をネジBで固定します。

（テレビの背面）
ネジB 銀色でネジ先端が尖っている
（設置する台）
手前のネジ穴を使用してください

7 初回設定を行う（はじめて設定）

1. お住まいの [郵便番号] を設定します。

画面の黄色の部分が選んでいる箇所です。

- リモコンの数字ボタンを使って入力します。
- 「0」を入力するときは 10/0 を押してください。
- 誤って入力した場合は ◀ ▶ で修正箇所に移動してから再入力してください。

2. [地方] と [都道府県域] を設定します。

- リモコンの方向ボタンと 決定 を使って操作します。

① 地方を選んでいる状態で 決定 を押します。
➡ 選択項目が表示されます。
② ▲▼ で地方を選んでから 決定 を押します。
➡ 設定が反映されます。同じように[都道府県域]も設定します。

地方　関東
都道府県域　中部
近畿

3. [開始] を選んで 決定 を押します。

スキャンが開始されます。

100% になるまでお待ちください

スキャンに失敗したとき

接続に問題があるか、地上デジタル放送を受信できる環境でない可能性があります。裏面の「こまったとき」を参照してください。

※それでも問題を解決できない場合は［次へ］で次のステップに進んでください。
お近くの電器店にご相談の上、地上デジタル放送を受信できる環境にしてから再度チャンネルを設定（(取扱説明書) P.42）してください。

4. お好みの [映像モード] を選んで 決定 を押します。

5. [完了] を選んで 決定 を押します。

6. ハードディスク初期化のメッセージが表示されます。

※このメッセージはハードディスクをはじめて接続したときのみ表示されます。
※メッセージは自動で消えますが、決定 を押してメッセージを消すこともできます。

➡ メッセージが消えると番組の画面が表示されます。
※初回設定をやり直すこともできます。くわしくは(取扱説明書) P.50を参照してください。

番組の画面が表示されない場合

ケーブル類が正しく接続されているか手順をはじめから見直してください。またケーブル類などがしっかりとささっているかも確認してください。それでも解決されない場合は裏面の「こまったとき」を参照してください。

製品仕様

項目		仕様
外形寸法	スタンドを含む	幅 75.5cm x 高さ 52.8cm x 奥行 23.2cm
	スタンド・突起部含まず	幅 75.5cm x 高さ 50.4cm x 奥行 6.4cm
画面寸法		幅 69.8cm x 高さ 39.3cm / 対角 80.1cm
受信機型サイズ		32V 型
質量	スタンドを含む	約 11.5kg
	スタンドを含まず	約 10kg
区分名		DF1
動作環境	使用時	温度 0 ～40°C 湿度 10 ～90% RH（結露なきこと）
	保管時	温度 −20～60°C 湿度 10～90% RH（結露なきこと）
液晶性能	縦横比	16：9
	画素数	1920 x 1080
	視野角	上下 178° 左右 178°（TYP） ※コントラスト比 10：1 が確保できる角度
音声	音声出力	実用最大出力 10 W + 10 W（JEITA）
	スピーカー	アンダースピーカー
電源	使用電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz
	消費電力	73W
	年間消費電力（スタンダード時）	約 57kWh/ 年
	待機電力	0.5W 以下 ※クイック起動の設定時を除く
接続端子	アンテナ端子 (F 型コネクタ)	地上デジタル／アナログ BS デジタル／ 110 度 CS デジタル 入力インピーダンス 75 Ω
	HDMI 入力	2 系統
	ビデオ入力	映像：1 系統（RCA）
		音声：L/R（RCA）
	パソコン入力	映像：1 系統（ミニ D-Sub15pin）
		音声：3.5 φ ステレオミニジャック
	音声出力	光デジタル音声出力：1 系統
		ヘッドホン出力：3.5 φステレオミニジャック
	その他	USB 2.0（ハードディスク専用）
		LAN（10BASE-T ／ 100BASE-TX）
		SD カード（SD ／ SDHC）
受信放送		地上デジタルテレビジョン放送（ISDB-T）
		地上アナログ放送（NTSC-J）
		ケーブルテレビ（C13 ～C63）
		BS デジタル放送（ISDB-S）
		110 度 CS デジタル放送（ISDB-S）
チルト角度		前 0° 後 10°
IR 受光部受光角度		上 30° 下 30° 左 30° 右 30°
付属ハードディスク	外形寸法	幅 7.5cm x 高さ 1.4cm x 奥行 11.7cm
	質量	約 180g
	インターフェース	USB 2.0
	電源	USB バスパワー

■ 受信機型サイズについて

「32V型」は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

■ 区分名について

「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビの画素数、表示素数、動画表示、および付属する機能の有無などに基づいて区分を行っています。

■ 年間消費電力について

省エネ法に基づいて、一般家庭での1日の平均視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

■ ハードディスクについて

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI−B

■ おことわり

仕様および外観は、性能向上やその他の理由で、予告なく変更する場合があります。

本製品は、社団法人電波産業会（ARIB）が定める規格に準拠した仕様になっています。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。

本体各部のはたらき

本書に記載している「(本)マーク」は取扱説明書の参照ページを示しています。取扱説明書も合わせて確認してください。

画面の視野角は上下左右 178°です。
視野角を超えると視聴しづらくなります。
テレビの正面からまっすぐ見てください。

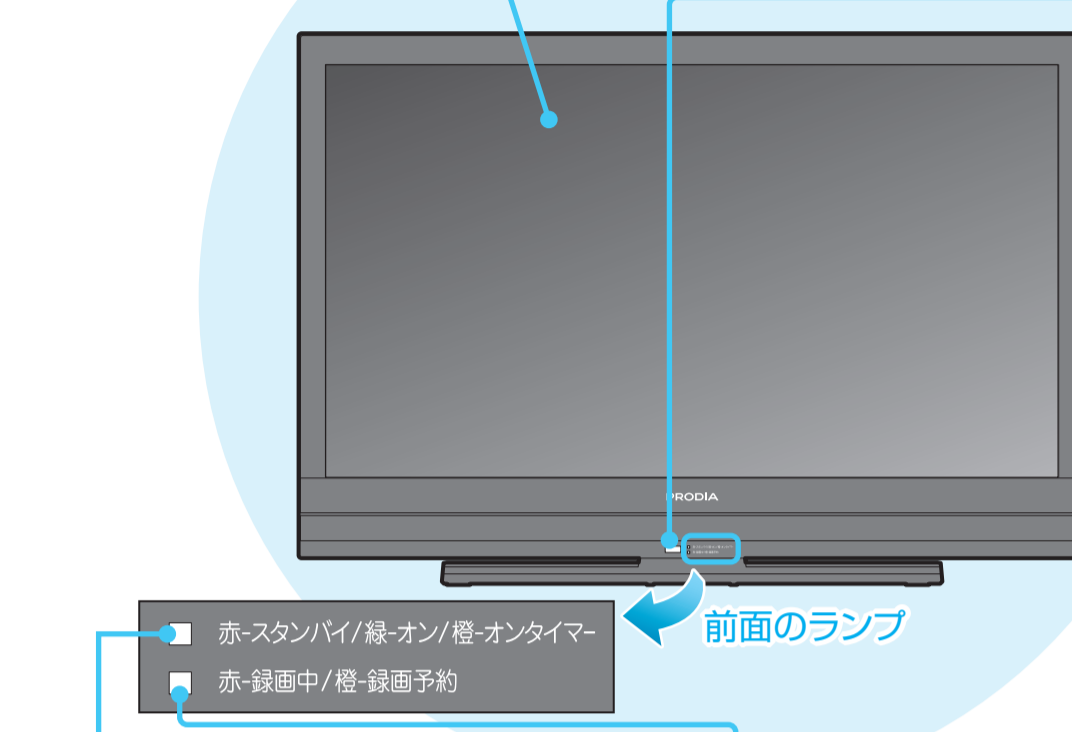
※画面の見え方には個人差があります。

リモコンの信号を受信する部分です。

※リモコンはここに向けて操作してください。
また、この部分をさえぎるように物を置かないでください。

リモコンで操作できる範囲	
正面	約5m
上 30°	約3m
下 30°	約3m
左 30°	約3m
右 30°	約3m

前面のランプ

- 赤-スタンバイ/緑-オン/橙-オンタイマー
- 赤-録画中/橙-録画予約

本機の状態を示します。

ランプの光り方	本機の状態
消灯	通電なし（電源ケーブル未接続）
緑	電源／入（視聴中）
赤	電源／切（待機中）
赤（点滅）	内部処理中（待機中）
オレンジ	オンタイマー設定中（待機中）

※内部処理中は電源ケーブルを抜かないでください。

録画の状態を示します。

ランプの光り方	本機の状態
消灯	録画予約なし
赤	録画中
オレンジ	録画予約あり

※録画予約があるときは電源ケーブルを抜かないでください。

背面のボタン

- 本機の電源を入／切します。
- 本機に接続した外部機器の映像に切り換えます。メニュー画面では選択項目を実行します。
- トップメニュー画面を表示します。
- チャンネルを昇順／降順で切り換えます。メニュー画面では選択を上下に移動します。
- 音量を調節します。メニュー画面では選択を左右に移動します。
- ヘッドホンを接続します。

付属の B-CAS カードをさし込みます。
カードの向きに注意して、奥までしっかりとさし込んでください。

SDカード（写真用）: 本機で写真を見るときに使用します。SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードをさしこみます。

ビデオ入力（映像・音声 左/右）: 黄・白・赤の端子を持つ AV ケーブルで外部機器と接続します。

端子	はたらき
USB（録画用）	ハードディスクを接続します。
LAN	LAN ケーブルでルーターに接続します。データ放送の双方向サービスで使用します。
HDMI	HDMI ケーブルで外部機器と接続します。
RGB	アナログ RGB ケーブル ミニ D-SUB15pin でパソコンと接続します。
音声	ミニステレオ音声ケーブルでパソコンと接続します。
光デジタル	光デジタル音声ケーブルで外部スピーカーと接続します。
BS・CSデジタル	アンテナ線で BS デジタル放送・CS デジタル放送のパラボラアンテナと接続します。
地上デジタル・アナログ（VHF/UHF）	アンテナ線で UHF アンテナの壁面端子と接続します。※地上デジタル放送とアナログ放送の端子がそれぞれ独立している場合は混合器を使用してください。
電源	付属の電源ケーブルを接続します。

付属の転倒防止用バンドを取り付けたり、床に固定するためのネジ穴です。くわしくは裏面を参照してください。

スタンドを取り付けるためのネジ穴です。くわしくは裏面を参照してください。

リモコンボタンのはたらき

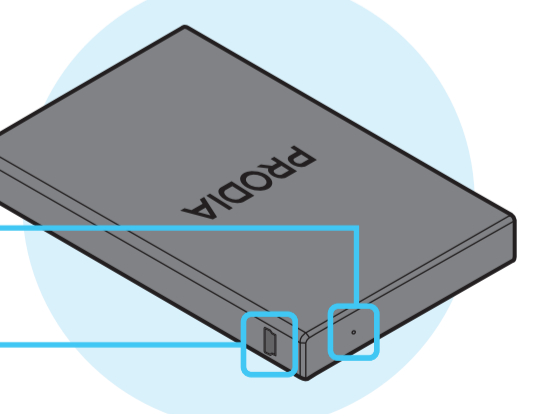
- [入力切換] 本機に接続した外部機器の映像に切り換えます。
- [地デジ] 地上デジタル放送に切り換えます。
- [BS] BS デジタル放送に切り換えます。
- [CS] CS デジタル放送に切り換えます。
- [3桁入力] チャンネル固有の番号を入力して選局します。
- [1]～[12] 各番号に割り当てられたチャンネルに切り換えます。
- [チャンネル ∧∨] チャンネルを昇順／降順で切り換えます。
- [静止] 番組の画面を静止します。静止中も番組自体は進行します。
- [dデータ] データ放送を表示します。（デジタル放送のみ）
- [画面表示] 現在選局しているチャンネルや番組情報を表示します。
- [音量 ＋－] 音量を調節します。
- [早戻し] 再生を倍速で戻します。押すたびに戻す速さが切り換わります。
- [再生] 一時停止中に再生を再開します。
- [停止] 再生または録画を停止します。
- [早送り] 再生を倍速で進めます。押すたびに進める速さが切り換わります。
- [録画] 視聴中の番組の録画を開始します。（デジタル放送のみ）
- [一時停止] 再生を一時停止します。
- [字幕] 字幕を表示します。（デジタル放送の字幕対応番組のみ）
- [音声切換] 番組内の音声を切り換えます。（複数音声番組のみ）
- [電源] 本機の電源を入／切します。
- [サブメニュー] サブメニューを表示します。視聴中の番組によって表示される項目が異なります。

サブメニュー項目	
オフタイマー	一定時間後、自動的に電源を切る設定をします。
予約一覧	録画予約の状況を確認します。（P.29）
番組詳細	現在視聴中の番組の詳細情報を表示します。
2D 方式切換／3D方式切換	3D 映像の表示方式を切り換えます。（P.12 ～ 13）
3D左右切換	3D 映像に違和感がある場合に設定します。（P.13）
写真	SD メモリーカードの写真データを閲覧します。
オンタイマー	指定した時間に自動的に電源を入れる設定をします。
画面サイズ	画面に表示する映像のサイズを切り換えます。
地上アナログ	アナログ放送に切り換えます。
番組の分割	録画した番組を分割します。（P.33）

- [3D] 3D 表示に切り換えます。（3D に対応した番組のみ）
- [消音] 音声の出力を停止します。
- [裏番組表] 現在放送されている番組の一覧を表示します。（デジタル放送のみ）
- [録画一覧] 録画した番組の一覧を表示します。
- [番組表] 番組表を表示します。（デジタル放送のみ）
- [決定・▲▼◀▶] メニューや番組表などで選択項目を移動・実行します。
- [メニュー] トップメニュー画面を表示します。
- [戻る] メニューや番組表などの画面を表示中に1つ前の画面に戻ります。
- [青][赤][緑][黄]（10秒戻し／30秒送り） メニューやデータ放送で割り当てられている操作を実行します。また、録画番組の再生中は［青］で現在の場面から 10 秒前に、［黄］で 30 秒後に移動します。

ハードディスク各部のはたらき

録画した番組のデータはハードディスクに保存されます。

録画するときはハードディスクを接続してください。
また、録画中はハードディスクの接続を解除しないでください。

本機に接続されているときに点灯します。
また、録画したデータの処理中は点滅します。
※点滅中は接続を解除しないでください。

USB ケーブルで本機と接続します。

※ 録画時間の目安は P.24 を参照してください。
※ 保存できる番組は最大 500 件です。不要なった番組は削除しておくことをおすすめします。
※ ハードディスクの制限事項（P. 8）もあわせて確認してください。

こまったとき

テレビの調子がおかしいときは、以下を参考にしてテレビを見られるようにしてください。

※本書に記載している「(本)マーク」は取扱説明書の参照ページを示しています。取扱説明書も合わせて確認してください。

忘れていませんか?

- □ B-CAS カードをテレビ本体に奥までしっかりさし込んでいますか?
- □ アンテナ線は本機に正しく接続されていますか?
- □ リモコンの電池は正しい向きで入っていますか?

何も映らない!!

何が問題なのかを診断します。ここから順番にはじめてください。

Q.電源は入っていますか?
- はい → 次へ
- いいえ → 本体の電源ボタンを押して、本機の電源を入れてください。

Q.チャンネルスキャンは行っていますか?
- はい → 次へ
- いいえ → P.42の方法で各放送波のチャンネルスキャンを行ってください。
- スキャンに失敗する → 「チャンネルスキャンにいつも失敗する。」へ

Q.視聴したい放送波に入力を切り換えていますか?（外部機器の入力になっていませんか?）
- [地デジ] を押しても地上デジタル放送が映らない → 「Q.お住まいの地域は地上デジタル放送の放送エリア内ですか?」へ
- [BS] を押しても BS デジタル放送が映らない → 「Q.対応のパラボラアンテナを設置していますか?」へ
- [CS] を押しても CS デジタル放送が映らない → 「Q.対応のパラボラアンテナを設置していますか?」へ

Q.お住まいの地域は地上デジタル放送の放送エリア内ですか?
- はい → 「Q.受信方法はどちらですか?」へ
- いいえ → 地上デジタル放送が開始されるまで、ご覧いただけません。
- わからない → 社団法人デジタル放送推進協会【Dpa】のウェブサイトまたは受信相談センターでご確認ください。(http://www.dpa.or.jp/)

Q.対応のパラボラアンテナを設置していますか?
- はい → パラボラアンテナに電源が供給されていないことが考えられます。本機の[電源供給]（P.44）を[入]にしてください。
- いいえ → BSデジタル放送やCSデジタル放送を受信するためには、対応のパラボラアンテナの設置が必要です。くわしくはアンテナメーカーや電器店などにお問い合わせください。

Q.受信方法はどちらですか?
- 屋外アンテナ → 「Q.地上デジタル対応のUHFアンテナですか?」へ
- ケーブルテレビ → 「Q.ケーブルテレビチューナーを経由していますか?」へ

Q.ケーブルテレビチューナーを経由していますか?
- 経由しない → 「Q.ケーブルテレビの放送方式は?」へ
- 経由する →
  - ・ケーブルテレビチューナーの映像・音声出力端子と本機の入力端子を対応するケーブルで接続してください（P.54）。
  - ・接続後は本機の入力切換でケーブルテレビチューナーに接続した入力に切り換えて視聴してください。また、チャンネルの切り換えなどはケーブルテレビチューナーのリモコンで行います。
  - ・ケーブルテレビチューナーのアンテナ出力端子から本機の入力端子に接続する場合は、ご加入のケーブルテレビ会社の配信方式がパススルー方式の場合のみ使用できます。

Q.地上デジタル対応のUHFアンテナですか?
- はい → 「Q.受信レベルを確認してください」へ
- いいえ → 地上デジタル対応のUHFアンテナの設置が必要です。くわしくは、電器店またはアンテナ設置業者にご相談ください。

Q.受信レベルを確認してください（P.42 の手順で確認できます。）
- 50% 以上 → アンテナ線など、ケーブル類の接続に間違いがないか確認し、チャンネルの再設定（P.42）をしてください。
- 50% 未満 → 電波が弱い、アンテナ線の劣化による接触不良、電波障害などの可能性があります。くわしくは、本機のお買い上げ店または電器店にご相談ください。

Q.ケーブルテレビの放送方式は?
- パススルー方式 → 「Q.受信レベルを確認してください」へ
- パススルー以外 → 本製品はパススルー方式に対応しています。その他の方式には対応していません。
- わからない → ご契約されているケーブルテレビ会社にお問合せください。

電源が入らない。

- 電源ケーブルをしっかりとさし込んでいますか?
  コンセント側と本機側の両方を、もう一度確認してください。
- リモコンを使っていて電源が入らない場合は、本体側面の電源ボタンを押してください。本体で電源が入る場合はリモコンの問題が考えられます。電池を交換してみてください。

チャンネルスキャンにいつも失敗する。

- お住まいのアンテナやアンテナ線の接続を確認してください。アンテナ線を分波／混合している場合は、正しく行われているか確認してください。
- 対応のアンテナが設置されていない場合や、ご使用の地域の電波状況が悪い場合もチャンネルスキャンに失敗します。本機のお買い上げ店または電器店にご相談ください。

リモコンでの操作ができない。

- 本機の受光範囲内でリモコンを操作してください。また、本機のリモコン受光部の前に障害物があると、反応しない場合があります。
- リモコンの電池が消耗すると反応しない場合があります。電池を交換してみてください。あわせて、リモコンの電池が正しくセットされているか確認してください。

音が出ない。

- 音声が極端に小さかったり、消音になっている可能性があります。音量を大きくしてみてください。
- 外部機器からの音声が出ない場合は、音声のケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、HDMI ケーブルで接続している場合は、本機の［HDMI 音声入力］（P.41）の設定が正しいか確認してください。

番組表に何も表示されない。

- P.16 の方法で番組表の情報を取得してください。
- 番組表は 1 日に 1 回、本機が待機状態のときに自動的に更新されます。また、1つのチャンネルを一定時間見ることで、その放送局の番組表を取得することができます。

特定のチャンネルが映らない。

- 受信レベルを確認してください。
- 悪天候などの影響で一時的に受信できなくなる場合があります。常に受信状態が悪いチャンネルは、ブースター（増幅器）を設置することで正常に受信できる場合があります。
- 地上デジタル放送で、アナログ放送では見ることができたチャンネルが映らないときは、放送波の発信局が変更されている可能性があります。この場合、アンテナの向きの調整によって改善されることがあります。くわしくはアンテナメーカーや電器店などにお問い合わせください。

お問い合わせ先

本製品について困ったときは、弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

0120-727-231（無料）
受付時間 10:00～18:00（年末年始と祝日を除く）

携帯電話をご利用の場合 0570-064-246

フリーダイヤル、ナビダイヤルをご利用いただけない場合 FAX 06-6633-2992

※フリーダイヤル以外は通話料がかかります。

地上デジタル放送全般についての質問はDpa（社団法人デジタル放送推進協会）にお問い合わせください。
【ウェブサイト】 http://www.dpa.or.jp/

アンテナについて困ったときはお近くの電器店にお問い合わせください。

B-CAS カードに関しては B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
10：00～20：00（年中無休）
【電話】0570-000-250
【IP 電話】045-680-2868
【ホームページ】http://www.b-cas.co.jp/